

KAKEGAWA

かがわ 第34号

市議会  
だより

平成24年2月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎ 0537(21)1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>

風車の下で(シートピアにて)

## おもな内容

## CONTENTS

- |                |       |
|----------------|-------|
| ● 11月定例会の概要    | 2ページ  |
| ● 政策議会報告       | 4ページ  |
| ● 一般質問         | 6ページ  |
| ● 行政視察報告       | 10ページ |
| ● 可決された意見書     | 11ページ |
| ● 傍聴席/2月定例会の予定 | 12ページ |

# 11月定例会

平成23年11月定例会が11月30日から12月22日までの23日間の会期で開催されました。この定例会では、一般会計と特別会計の補正予算や掛川市個人情報保護条例の一部改正など32件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決、同意されました。

また、議員から提出された国への「原子力発電所の安全確保および新たなエネルギー政策を求める意見書」が全会一致で可決されました。

## 11月補正予算

### 1 一般会計

- 1) 補正予算 3億514万円 (補正後の予算総額 435億482万円)  
2) 主な内容

#### 歳入

①市債増	1億3,620万円
②市税増	1億442万円
③県支出金増	3,333万円
④国庫支出金増	1,286万円
⑤諸収入増	1,240万円

#### 歳出

①台風関連災害復旧費等追加	1億8,569万円
②(仮称)南部体育館建設事業費追加	1億5,358万円
③財政調整基金積立金減	△1億0,000万円
④一般職給与費等減	△9,407万円
⑤子ども医療助成事業費増	8,993万円

### 2 特別会計

- 1) 国民健康保険特別会計 1億3,483万円 (補正後の予算総額113億925万円)  
2) 介護保険特別会計 △854万円 (補正後の予算総額79億444万円)  
3) 簡易水道特別会計 535万円 (補正後の予算総額1,920万円)  
4) 公共下水道事業特別会計 △2億7,434万円 (補正後の予算総額23億147万円)  
5) 農業集落排水事業特別会計 △550万円 (補正後の予算総額2億2,113万円)  
6) 浄化槽市町村設置推進事業特別会計 △230万円 (補正後の予算総額3億3,406万円)

## 条例の一部改正

### ◆掛川市個人情報保護条例の一部改正

今回の条例改正は、市が保有する個人情報の開示請求等に関する権利を一層充実させるとともに、不服申し立てに対する救済制度の拡充を図ることにより、時代に即したより利用しやすい個人情報保護制度とするため、規定の整備を行うもので、審議の結果、原案のとおり可決されました。

## 指定管理者の指定

公の施設の指定管理者の指定については、「掛川市森の都ならここの里」他12件の議案が上程され、審議の結果、原案のとおり可決されました。これは、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間または平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間、公の施設の指定管理者の指定をするものです。

## 11 月定例会における議案の審議結果一覧

議案番号	議案名	議決内容
議案第 103 号	平成 23 年度掛川市一般会計補正予算(第4号)について	全会一致可決
議案第 104 号	平成 23 年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	全会一致可決
議案第 105 号	平成 23 年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	全会一致可決
議案第 106 号	平成 23 年度掛川市簡易水道特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
議案第 107 号	平成 23 年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
議案第 108 号	平成 23 年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
議案第 109 号	平成 23 年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
議案第 110 号	平成 23 年度掛川市水道事業会計補正予算(第2号)について	全会一致可決
議案第 111 号	掛川市個人情報保護条例の一部改正について	全会一致可決
議案第 112 号	掛川市職員の給与に関する条例等の一部改正について	賛成多数可決
議案第 113 号	掛川市税条例等の一部改正について	全会一致可決
議案第 114 号	掛川市住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部改正について	全会一致可決
議案第 115 号	掛川市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
議案第 116 号	掛川市都市公園条例の一部改正について	全会一致可決
議案第 117 号	中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会の設置について	全会一致可決
議案第 118 号	牛淵川新橋左岸下部工工事変更委託契約の締結について	全会一致可決
議案第 119 号	字の新設について(下俣地区等)	全会一致可決
議案第 120 号	掛川市道路線の認定について	全会一致可決
議案第 121 号	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市森の都ならこの里)	全会一致可決
議案第 122 号	公の施設の指定管理者の指定について(遠州南部とうもんの里総合案内所)	全会一致可決
議案第 123 号	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市勤労者福祉会館)	全会一致可決
議案第 124 号	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市自転車等駐車場)	全会一致可決
議案第 125 号	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市駅周辺駐車場)	全会一致可決
議案第 126 号	公の施設の指定管理者の指定について(掛川大手門駐車場)	全会一致可決
議案第 127 号	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市いこいの広場)	全会一致可決
議案第 128 号	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市安養寺運動公園)	全会一致可決
議案第 129 号	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市下垂木多目的広場)	全会一致可決
議案第 130 号	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市海洋センター)	全会一致可決
議案第 131 号	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市大東体育施設)	全会一致可決
議案第 132 号	公の施設の指定管理者の指定について(東遠カルチャーパーク総合体育館)	全会一致可決
議案第 133 号	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市大須賀体育施設)	全会一致可決
議案第 134 号	掛川市固定資産評価員の選任について	全会一致同意
請願第 2 号	浜岡原発の永久停止と廃炉を決議することを求める請願書	賛成少数不採択
陳情第 2 号	TPP交渉参加反対の意見書採択に関する要請	継続審査
陳情第 3 号	TPP交渉参加反対の意見書採択に関する要請	継続審査
陳情第 4 号	浜岡原子力発電所の再稼働時に関する条件と原発に頼らないまちづくりに関する陳情書	趣旨採択
議発第 6 号	原子力発電所の安全確保および新たなエネルギー政策を求める意見書	全会一致可決

### 11月定例会の経過

● 30日 本会議 ≡ 平成二十三年  
年度一般会計補正予  
算等各議案の市長提  
案説明、一部議案常  
任委員会付託

● 8日 本会議 ≡ 一般質問  
一部議案、討論、採決

● 9日 本会議 ≡ 一般質問  
● 12日 本会議 ≡ 一部議案採  
決、議案常任委員会  
付託

● 15日 常任委員会協議会(政  
策議会) ≡ 重要課題  
案審査

● 22日 本会議 ≡ 常任委員会  
委員長報告、質疑、  
討論、採決、追加議  
案の市長提案説明、  
採決、常任委員会協  
議会委員長報告

# 政策議会報告

11月定例会は、政策議会と位置づけられ、掛川市の中・長期的課題について活発な議論が交わされました。

この協議会で話し合われたことが、今後の行政施策の道筋のひとつとされます。ここでは、議論された内容について要旨を掲載いたします。

## 総務委員会協議会

### 補助金・委託金のあり方について

今回、このテーマに対し個別論ではなく総論で議論をいたしました。各種団体への補助金はその都度行政施策上必要だから補助をし支援をしてきたところであるが、時も経過したものや、今掛川市の厳しい財政状況もあり、見直しはやむを得ないが、各種団体の今後の活動にも大きく影響する問題であるので、十分な説明と理解を得るべきである。最終判断は庁内の経営戦略会議で行い、予算措置は当局で提案し、決定は議会が判断する。

また、委託金については、職員の定数削減等の問題も関係し、委託事業は、行政の一部を補完する役割も担っており、補助金・委託金の見直しには、市当局も十二分に研究し、住民サービスの低下を招かないように、配慮と努力をすべきである。

### 住民自治のあり方について

今回の未曾有の東日本大震災は身近な地域、人々の結びつきと絆の大切さを教えてくれ、自治会等の重要性を改めて認識をしたところでもあります。自治会等住民自治活動の問題は、合併時より問題提起されている。問題点を整理し、あり方を研究する必要がある。

今回市民検討委員会により答申をいただき自治基本条例の素案が提示されており、住民の意見も交えながら十分検討・研究をしていきたい。



## 環境産業委員会協議会

### 太陽光、風力、小水力発電など 再生可能エネルギーの促進について

特に太陽光発電施設の設置促進については、補助金を有効に使った「とくとくプラン」と掛川市独自の太陽光発電自己診断システムなどの「安心プラン」をあわせて推進し、将来的には民間会社を立ち上げて、設置等にかかる相談や苦情への対応もできるようにすることが必要である。今後5年間で市内戸建て住宅の2割に太陽光発電を設置することを目標として推進する。また、太陽光発電普及推進プロジェクトにより、太陽光パネルの一括購入、一括施工による大量設置を進めることによって、安価な設置を図りたい。さらに、風力、小水力発電などの推進を研究する必要がある。

### 新東名高速道路と 地域活性化の方策について

森掛川インター隣接の寺島・幡鎌地区、通称小太郎谷は、土地条例にもとづく特別計画協定区域となっている。掛川市の北の玄関口としての可能性を秘めており、企業や大規模店等の誘致を積極的に展開し、市を挙げて地域活性化に取り組む必要がある。

また、倉真パーキングエリアでの販売戦略として、御前崎港、福田港、吉田港等との連携で、マグロや海鮮丼、お寿司等、倉真の自然薯とともに、海の物、山の物、横並びにして販売したらどうかという意見があった。

#### 【その他のテーマ】

補助金・委託金のあり方について

## 文教厚生委員会協議会

### 地域福祉について

社会福祉協議会と西山口地区福祉協議会から地域福祉活動の現状を報告してもらい、この事例をケーススタディーとして意見交換を行った。

先進的な活動を行う西山口地区福祉協議会の報告では、設立の経過や活動状況をわかりやすく説明していただいた。

高齢者福祉のために見守りネットワークを進めようとする個人情報が壁になって前に進めないといった問題や、地域福祉を進める上での人材確保のあり方などの問題に指針を与えてくれる良い事例であり、委員間で熱い意見交換がされた。

地域福祉は背伸びせず着実に実施していくことが必要であり、関係する機関の連携強化や、今後整備されていく「ふくしあ」との協働の必要性がある。

### 幼保一元化の成果と課題について

幼保一元化は平成12年に旧掛川市において策定され、26園の公私立幼稚園・保育園のうち、21園を6幼保園と2幼稚園に再編する8園化構想として進められ、今年度のさかがわ幼稚園の建てかえをもって整備が完了する。

協議会では、①民営の大きな幼保園になって保育内容が向上したという効果はあるが、民営化により保育料が上がり公・私立間の負担格差が出てきたこと、②地区によっては希望する幼稚園に入園できないこと、③掛川区域では幼稚園の定員充足率は高いが南部は低いこともあり、幼稚園の定員適正化を早く進める必要がある、等の意見交換がされた。

保育園への待機児童を解消することと、幼稚園の定員の適正化は早急に解決すべき課題であることを委員会協議会で確認した。

【その他のテーマ】 補助金・委託金のあり方について



# 一般質問

## Q&A

松井俊二（新政会）

### 中心市街地活性化の必要性の考えは

**Q** 「活性化基本計画」に基づき、中心市街地の賑わいを取り戻すため各種施策を展開しているが、人口減少や高齢化の進展に歯止めがかからない危機的な状況にある。活性化の必要性をどう考えるのか。

**A** 引き続き市街地の活性化に努力していく

中心市街地活性化については、まず地域の商店の皆さん、商工会議所が主体となって取り組むことが必要である。その上で地区の住民や各種団体等が参加、連携してまちのにぎわいの輪を広げていくこと。市としても積極的なお手伝いをしていく、あるいは協働という立場で関わっていく。

### 地震など大規模災害時における消防団員の安全対策は

**Q** 東日本大震災では、消防団員が住民の避難

誘導等の活動中、大津波により二五〇人余の尊い命が犠牲となった。想定される東海地震等における消防団員の使命と安全対策は。

**A** 分団ごとの活動について検討を進めていく

各自主防災ごとの津波避難計画に合わせ、分団センターの位置、地元住民の避難地を踏まえた分団ごとの活動について検討を進めていく。

【他の質問事項】自転車事故防止と安全な自転車道の整備について、新東名高速道路の供用開始に向けた市の取り組みについて

山崎恒男（創世会）

### 第一次総合計画の基本計画の見直しは

**Q** 計画策定時と現在では、政治、経済、社会情勢は激変している。市政を取り巻く、市民ニーズも多種多様に変化している。この変化を市長はいかに見直しに反映しようとしているか伺う。

**A** 情勢を踏まえて、基本計画の見直しを行うこととした

情勢の変化を的確に捉えるとともに、対症療法よりは体質改善に軸足を置いて施策見直しに反映していきたい。さらに、こうした行政課題の解決には、行政だけではなく、市民、NPO、企業などがお互いに責任を持ち協力して解決に当たる手法を用いたいと考えている。このような行政手法の転換も計画に織りませてみたい。

### 平成二十四年度予算編成方針は

**Q** 新年度予算編成にあたり、手堅い緊縮財政

を堅持するか、社会資本整備並びに、市民ニーズに配慮した、積極的予算編成で臨もうとしているのか伺う。

**A** 地震津波対策を中心とする社会資本の整備に取り組む

新年度予算は、予定を前倒しして地震津波対策の四カ年計画を実施する。時代の要請と市民要望に対応するため、優先順位をきちんと把握した上で、適切な予算措置を行っていく。

【他の質問事項】地域の諸課題について



恒例になりにぎわうけつトラ市



掛川市の活性化が期待される新東名

# 一般質問

## Q&A

大庭博雄（誠和会）

### 外国との姉妹都市提携の展望は

**Q** 十一月に、掛川市は韓国・横城郡（フエンソン郡）と新たに姉妹都市提携を行った。これまでユージン市・コニング市と都市提携をしてきたが、都市提携の評価、反省及び今後の展望について伺う。

**A** 静岡空港を活用し東アジアへの交流拡大を考えている

姉妹都市提携は、将来の掛川市を担う多くの若者が、直接海外に赴くことにより、得がたい海外体験をしたり、国際感覚を養う一助になった。今後、アメリカ合衆国の二市については、引き続き行政との協働を進めていきたい。横城郡については、

柴田正美（共産党掛川市議団）

### 浜岡原発の地震、津波、永久停止・廃炉に対する認識は

**Q** 浜岡原発はM九の地震・津波に耐えられるか。想定外の事故は必ず起こりえるし、原発で「想定外」の言い訳は許されない。永久停止・廃炉しかないのでは、市長の認識は。

**A** 安全性の確保が必要

M九・〇の地震、津波に耐え得るような安全性の確保が必要だということなので、現在そうなっているかといえは、そうではないだろうという認識である。

【他の質問事項】市長の政治姿勢について

### 都市計画税は国の「都市計画運用指針」と矛盾では

**Q** 「全部又は一部」は市街化区域の読み替え規定か。国土交通省の「都市計画運用指針」には「用途地域は都市施設（道路、公園、下水道、緑地、広場）などを定め」「用途地域外は都市施設を定めるな」とある。都市化を抑制しなさいという地域にも同じ課税では理屈が通らないのでは。

**A** 誤解のないようにしていただきたい

運用指針では「望ましくない」とある。これは、法律的に「してはいけない」ということではないと理解している。掛川市は非線引き都市計画区域であり、都市計画税の課税に違法性は全くないので、その辺、十分誤解のないようにしていただきたい。



横城郡の郡役所は街中の小高い丘の上にある

訪問団の派遣やスポーツでの人的交流、産業の交流まで拡大していきたい。

**企業誘致の現状と今後の展望は**

**Q** 新病院隣接の企業用地に二社が進出し、工場建設が始まった。新工コポリス（第二期）も企業誘致活動を行っているが、どのような状況にあるか、現状及び今後の見通しを伺う。

**A** 良好なアクセスを最大限生かした取り組みを進めていく

政府から東海地震が三十年以内に発生する確率が八十七%であるということと、浜岡原発の停止要請を発表した後は企業情報途絶え、交渉中の企業との話し合いも白紙の状態となってしまった。現在の状況としては、若干ではあるが企業情報が入り始めたので、精力的に誘致活動を進めていく。

【他の質問事項】学校における放射線教育について



「人間の鎖」で浜岡原発を包囲する人たち

【他の質問事項】市長の政治姿勢について



山本行男(公明党かけがわ)

### 女性の視点による防災対策は

**Q** 災害が大きいほど避難所生活が長くなり、高齢者、障がい者、乳幼児等の災害弱者や女性への配慮等が必要となるのが今回の大震災で改めてわかった。地域防災計画作成の際、女性からの意見をどのように聞き、備蓄品等はニーズを十分に踏まえているか伺う。

**A** 女性の視点を取り込む努力をしていく

女性や乳幼児、高齢者、障がい者等の災害備蓄品については、災害時応援協定を締結している掛川スポーツ協会、掛川市農協、生協などから必要な災害備蓄品を調達することとしている。

### 災害時のホームページ代理掲載は

**Q** 災害情報の確保が重要な被害を受けた際遠隔地の自治体にホームページの代理掲載の計画はあるか伺う。

**A** 移設場所、システム内容等を含め検討中

被災時にもホームページを維持していくためには、サーバ類を被災の影響を受けにくい遠隔地のデータセンターなどに移すクラウドコンピューティングと呼ばれるシステムが最も有効だと考えており、現在検討中である。さらに、緊急時における他自治体へのホームページ代理掲載も検討中である。

【他の質問事項】全国お茶まつりの開催地としてお茶マークの当地プレート作成について、人口内耳装用者への助成について

中上禮一(みどりの会)

### 交流型観光産業の育成状況は

**Q** 交流型観光産業の育成と全国コンベンション大会を誘致し、交流人口の拡大を図ることについて検討している内容を伺う。

**A** 交流人口の拡大を図る試みが多角的に行われている

平成二十四年十一月、「第六十六回全国お茶まつり静岡大会 in 掛川」及び「第十五回全国獅子舞フェスティバル掛川」を誘致し、静岡県主催の「第三十六回全国育樹祭」もエコーパを会場として計画している。

### 天浜線のDMVは実現可能か

**Q** 天竜浜名湖鉄道のデュアル・モード・ビークル(道路とレールの双方を走ることができる乗り物)による富士山静岡空港、御前崎港への延長のために実施された実証実験の結果を伺う。

**A** 技術的、法令的、経営的な課題がある



実証実験中のDMV

【他の質問事項】病院経営と看護師のキャリアアップについて、教職員の精神疾患に対する予防策について

実証実験の分析結果として一点目は、車両が軽いため方向をかえる装置が使用できないことや、信号、踏切も従来のシステムでは信頼性に問題があること。二点目には、運営システムを二重に用意しなければならぬこと。三点目として、必要な新規投資額の規模が現状では不明であること。四点目として、長大橋における横風や下からの吹き上げなどの対策が検討されていないことが確認された。

災害用簡易トイレ専用 非常用排便収納袋	
品名	汚物処理袋(簡易排便用) 100枚 保管袋 10枚 多目的雑巾 10枚 強力除菌剤(アルコール) 400g 1箱 トイレットペーパー 5巻 車用受けバケツ 1枚 直洗い剤 1箱
数量	
納入年月	平成 23 年 2 月
発注元	掛川市
納入業者	旭産業株式会社

災害弱者のニーズにこたえているか



# 一般質問 Q&A

**川瀬守弘（共産党掛川市議員）**  
**爆発・放射能汚染の原発事故、徹底した検証・解明を**

**Q** 電力会社は、事故原因を津波による電源喪失だとしている。地震による配管破断、原子力プラントの破壊はなかったのか。徹底した検証・解明抜きに再稼働は論外だと思いが見解を伺う。

**A** 福島をしっかりした検証がなければいけない

再稼働については、市民の生命・生活を守るということが基本であるので、将来にわたって確実な安全・安心が担保されなければ認められない。



浜岡原子力発電所（東側より）

**使った核燃料の後始末ができない「核燃サイクル」は**

**Q** 原子力発電は「未完成」で危険な技術。停止すれば「安全」でないことが「福島」で証明された。

「死の灰」を絶対かつ安全に閉じ込める技術、始末するシステムを人間は持っていない。見解を伺う。

**A** 難しい状況が続いているという認識を持っている

低レベル・高レベルのさまざまな廃棄物を最終的に処理する方法は、現在では埋設しかないが、国において最終処分地が確保されていない状況であり、サイクルを経て最終処分までを含めた観点からすると、難しい状況が続いているという認識を持っている。

【他の質問事項】津波対策について、健康医療について

**姉妹都市提携の調印式を行いました**

平成二十三年十一月二十五日、韓国江原道<sup>カシウオンド</sup>横城郡と姉妹都市提携に関する協定書の調印式を行いました。掛川市議会からは議員十名が同行し、横城郡議員とも親交を深め、民間とともに両都市の友好について確認がなされました。今後は、横城郡と人的・産業・スポーツ等の交流を通じ、お互いの関係をより一層深めてまいりたいと考えております。



姉妹都市提携調印式

**災害時における相互応援に関する協定を締結しました**

十二月六日、掛川市と岐阜県恵那市の「災害時における相互応援に関する協定」の調印式が恵那市にて行われました。

これは、大規模な災害が発生した時に両市が相互に支援をし合う目的で締結されました。平成元年に旧大須賀町と旧岩村町で「ゆかりの郷」協定が結ばれていたことが縁で続いた交流をさらに深めたものです。



可知恵那市長（右）と松井掛川市長（左）

# 委員会行政視察

各委員会は、所管する事項を調査するため先進地へ行政視察を行いました。

## 議会運営委員会 (11/8 ~ 10)



福岡県大牟田市

### 【視察事項】

- 議会運営について
- 外国人参政権について (長崎県対馬市)
- 議会運営について
- 議会基本条例について (福岡県久留米市、大牟田市)

## 防災対策特別委員会 (7/6 ~ 7)



宮城県石巻市

### 【視察事項】

- 遠州灘と類似した名取海岸の状況について
- 津波被害の状況について
- 復旧復興の状況について (宮城県名取市)
- 被災地の状況について (主に車窓から)  
(宮城県石巻市、東松島市、塩竈市、<sup>しおがまし</sup>仙台市沿岸部)

## 議会基本条例制定特別委員会 (10/19 ~ 20)



三重県伊賀市

### 【視察事項】

- 議会基本条例について (三重県四日市市、伊賀市)

## 議会だより編集特別委員会 (8/10 ~ 11)

### 【視察事項】

- 議会だよりの編集について  
(埼玉県戸田市、東京都武蔵野市)

## 総務委員会 (10/4 ~ 6)



青森市

### 【視察事項】

- 大震災の対応と近隣市町の支援について
- 議会基本条例制定の効果と課題について (岩手県奥州市)
- プルサーマル事業の概要と震災対策について  
(六ヶ所村内日本原燃再処理施設)
- 「行財政改革プラン2011」について
- 駅前再開発ビル「アウガ」の事業概要について  
(青森県青森市)

## 環境産業委員会 (7/26 ~ 28)



秋田県仙北市

### 【視察事項】

- 十和田産品販売戦略室の取り組みについて
- 地域公共交通事業について
- 交通デマンドについて (青森県十和田市)
- 観光行政の取り組みについて (秋田県仙北市)
- 被災地の状況について (主に車窓から)  
(岩手県遠野市、釜石市、大船渡市、陸前高田市)

## 文教厚生委員会 (7/25 ~ 27)



秋田市

### 【視察事項】

- 健康の駅について (秋田県横手市)
- 学力向上の取り組みについて (秋田県秋田市)
- 震災における他市町被災地域からの受入対応について  
(岩手県花巻市)

## 可決された意見書

# 原子力発電所の安全確保および 新たなエネルギー政策を求める意見書

東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故は、9カ月を経過した現在も収束のめどが立たず、極めて深刻な状況にある。

自然の猛威による被災であるが、事前の防災対策や事故以降の対処に人災的な要素も極めて大きく、原子力の平和利用を推進してきたわが国としてたいへん危機的な状況になっている。

現在、原子炉の冷温停止への対策や漏れた放射性物質の除染が実施され、いずれも難しい対策が求められているが、いまだ展望を見いだすところまで至っていない。

よって、国は今回の放射能汚染の現状を深刻に受け止め、原発依存からの転換を目指し、下記の事項に特段の措置を講じられるよう強く要請する。

- 1 今回の事故原因の徹底した検証に基づき、抜本的な安全対策を全ての原発に講ずること。  
特に、東海地震震源域に存在する浜岡原発については、以下の条件が満たされるまでは再稼働をしないこと
  - (1) 福島第一原発事故が収束し原因が究明されること
  - (2) 地域住民にとって、確実な安全性が確立されること
  - (3) 国の原発に対する安全指針が示されること
  - (4) 原発立地周辺自治体及び住民の理解が得られること
- 2 浜岡原発にある使用済み核燃料の安全な冷却とシビアアクシデント(過酷事故)に対する体制整備を図ること
- 3 原発依存からの転換を目指した新しいエネルギービジョンを示すこと
- 4 放射能汚染による食品の安全基準を明確に示し、国民の不安解消、風評被害の発生を根絶すること
- 5 使用済み燃料の最終処分場の確保に全力をあげること
- 6 放射性物質の除染対策に万全を期し、安全安心の国土復興に徹底して取り組むこと

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、内閣官房長官

## 行政視察受入状況（議会事務局扱い）

H 23 年度	件数	人数	内宿泊 件数	宿泊 人数
4月～12月	43件	339人	23件	186人



## 項目別上位3位の視察受入状況

順位	視察項目	件数
1	防災対策（地震・津波対策、自主防災会、防災体制）	8件
2	幼保再編計画	7件
3	地域健康医療支援センター（新病院建設含む）	4件
	生涯学習（推進体制、取り組み、実績）	4件

# 議 会 日 誌

## 10月

- 18日 ● 太田川原野谷川治水水防組合議会
  - 中東遠看護専門学校組合議会
  - 浅羽地域湛水防除施設組合議会
- 19日～20日
  - 議会基本条例制定特別委員会行政視察(三重県四日市市、伊賀市)
- 24日 ● 市議会全員協議会
  - 議会運営委員会
  - 新病院建設・地域医療対策特別委員会
- 25日 ● 防災対策特別委員会
  - 掛川市・袋井市新病院建設事務組合全員協議会、臨時議会

- 26日 ● 議会基本条例制定特別委員会
- 31日 ● 環境産業委員会協議会

## 11月

- 1日 ● 静岡県市議会議長会定期総会(磐田市)
- 8日～10日
  - 議会運営委員会行政視察(長崎県対馬市、福岡県久留米市、大牟田市)
- 16日 ● 議会基本条例講演会
- 17日 ● 静岡県地方議会議長連絡協議会第2回政策研修会(静岡市)
- 18日 ● 議会基本条例制定特別委員会
  - 中東遠地区市議会議長協議会(御前崎市)
- 21日 ● 市議会全員協議会
  - 防災対策特別委員会

- 22日 ● 議会運営委員会
  - 議員懇談会
- 28日 ● 議会だより編集特別委員会・環境産業委員会現地視察
- 30日～12月22日
  - 掛川市議会第5回(11月)定例会

## 12月

- 5日 ● 議会だより編集特別委員会
- 6日 ● 総務委員会現地視察
- 8日 ● 議会運営委員会
- 15日 ● 議会運営委員会
- 20日 ● 議会だより編集特別委員会

## 1月

- 11日 ● 静岡県西部地区市議会議長協議会(藤枝市)
- 12日 ● 議会だより編集特別委員会

## 2月定例会の予定

### 【2月】

- 27日 本会議(施政方針、議案の提案説明)
- 28日 本会議(議案の提案説明)

### 【3月】

- 2日 本会議(23年度関係議案質疑、委員会付託)・常任委員会
- 7日 本会議(23年度関係議案委員長報告、採決)
- 8日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(24年度関係議案質疑、委員会付託)・常任委員会
- 13日 常任委員会
- 22日 本会議(24年度関係議案委員長報告、採決)

## 傍 聴 席

自分たちがいま直面している問題が取り上げられるというところで、初めて定例会市議会を傍聴させていただきました。丁々発止となるのかと思いきや、終始和やかに粛々と進行されるので驚きました。限られた時間内では質問の仕方も難しいし、真意をくみ取り答えるのも難しいでしょう。まして、三六〇度の観点から答えねばならな

いからでしょうが、市の明確なる姿勢が見えず、とても不安かつ残念に思いました。ため息まじりに天井を見上げますと、以前「議場の天井は、貝をかたどっており『市・議会・市民のあるべき明確なる姿勢』を示している」と説明を受けたことを思い出しました。この議場にお入りになられる時は、関係者はすべからく「掛川市議会議場の建造物が指し示すメッセージ」を、襟を正し、肝に銘じ努力し

ておられると信じておりますが…。残念に思う反面、議会というものが垣間見えた気がしました。もしかすると議会では、全ての議員が、全ての議会答弁を我と我が事と思いつくことで、担当地域以外の情報をも、入手できるのではないのでしょうか。市民も同様です。自分の関心事ばかりでなく、いろいろなことを傍聴しなくてはいいかもしれません。

山本 和子(駅前)

## 編 集 後 記

市議会だよりの編集委員を初めて務めています。議員八名にて構成され、年に五回の発行をしています。が、市民の皆さんが本当に読んでいただいているだろうかと心配しています。記事の構成や写真、文章の一言一句に至るまで、熱く議論しながら作成していますので、今まで以上にしっかりとお読みください。

議会はもともと市民にわかりやすく、市民に開かれ、市民の意見を聞き、議員同士が議論を活発にするという改革が求められています。掛川市議会は昨年に続き、議会を改革するための特別委員会を設置し、検討を進めています。ぜひ、ご期待ください。

編集委員 草賀章吉

## 【お詫びと訂正】

かけがわ市議会だより11月1日号12ページの「傍聴席」に誤りがありました。

(誤) 担当 (正) 相当  
お詫びして訂正いたします。